

県人会 北から南から ー特別版ー

夏期地方活動報告

県人会では夏期休暇を利用して、県内で開催されるイベントに参加したり、郷土文化に触れたりしている。今回は6県人会長に、活動の成果を語ってもらった。

道央の大自然に挑む 北海道道人会
山科 卓也会長(経営2)

8月1日から8日まで、ニセコ・小樽などの道央部を巡りました。ラフティング体験など、雄大な自然に触れ、楽しい活動になりました。



▲ラフティングに挑戦も

「花笠踊り」に本格参加 山形県人会
斎院 雄一会長(文2)

昨年から山形市の「花笠祭」に参加。今年は県内出身者を中心に練習に励み、「専修大学山形県人会」として本格的に踊りに参加しました。



▲前列中央で看板を持つ
斎院会長

”よさこい”で満足の踊り 埼玉県人会
遠藤 隆志会長(経済2)

朝霞市の「彩霞祭」で行われた「関八州よさこいフェスタ」に今年も出場しました。満足いく踊りが出来、充実感でいっぱいです。



▲みんなが一つになれて、
充実感

広島文化に触れる旅 広島県人会
星 洋平会長(ネット情報2)

宮島、原爆資料館、お好み焼き村などを散策。ほとんどの会員が広島に行ったことがなく、初めて触れる文化から学ぶことも多かったです。



▲安芸の宮島で。後列左
から4人目が星会長

「阿波踊り」の”輪”広がる 徳島県人会
西條 淳会長(商2)

恒例の徳島市の阿波踊りに参加。メインステージの市役所前でも踊ることが出来ました。他の県人会や卒業生の参加で交流の輪も広がりました。



▲前列中央しゃがんでいる
のが西條会長

有意義だった恩納村訪問 沖縄県人会
稲嶺 萌(もえぎ)会長(経営2)

約30人で沖縄本島の恩納村を訪れました。郷土料理を食べたり、首里城を見学したりと、郷土文化に触れることが出来、有意義でした。



【ニュース専修2004年10月号5面】

日本代表「サムライズ」海外での初勝利飾る

球を使う格闘技 — オーストラリアンフットボール —

寄稿 及川 潤(経営2)

魅力は空中戦

「オーストラリアンフットボール」と言って、分かってくれる人は、今の日本に果たしてどれだけいるだろう？ まだまだ多くの人知らないのが現実で、日本でも活動していることや、4年に一度、W杯が行われていることは、なおさら知らないはずだ。では、どういうスポーツなのか。ここで少し説明しよう。適した表現が見つからないが「ラグビーとバスケットボールとサッカーを足したもの」という表現が、的を射ていそうだ。細かいルールは少なく、プレーの自由度は高いと言える。魅力は？と聞かれれば、なんと言ってもジャンプでボールを競い合う空中戦に尽きる。「球を使う格闘技」とも呼ぶ人が多いが、まさにその通り。フリーキックの権利を得る「マーク」を取るために、空中でボールを奪い合うのだ。もちろんタックルなどの激しいプレーや華麗なキックなど、魅力は語りきれない。

来年のワールド杯で1勝を

今年8月、私たち専大オーストラリアンフットボール愛好会のメンバー6人を含む日本代表チーム「サムライズ」は、シンガポールとオーストラリアに遠征した。シンガポールでは同国代表と戦い、サムライズにとって初めてとなる海外での勝利を挙げた。その後、オーストラリアで全5試合を行い、最終戦はプロの前座試合としてニュージーランドチームとの親善試合を行った。日本からの応援も加わり、試合は白熱したが、我がサムライズは、惜しくも2ポイント差で涙を飲んだ。しかし、今回の遠征ではかなりの手ごたえを得た。

9月からは大学リーグも始まり、日本での活動はさらに活発になってきた。目標は、来年のW杯で1勝を挙げることだ。今、オーストラリアンフットボール愛好会は世界に勝つために練習に励んでいる。そこで新メンバーを募集中。興味を持ったらぜひ一度、練習を見に来てほしい。

【ニュース専修2004年10月号5面】

たまたま子育てまつり

今年も心理教育相談室が協力

9月19日、多摩市民館で行われた子育て支援事業「たまたま子育てまつり」に、今年も心理教育相談室が協力。同相談室の臨床心理士と心理学を学ぶ学部生、大学院生がお母さん・子どもたちと触れ合った。子育て上の悩みなどを相談する個別心理相談では、簡単な発達検査や、性格検査もを行い、昨年好評だったコラージュ体験にも、多くの親子が参加した。「心理学」に興味を持っていたらと、心理検査用具や検査用紙の展示を行った点も興味を引いたようで、専大コーナーには昨年の3倍もの来場があった。視察に来ていた宮前区社会福祉協議会からも高く評価され、同区で計画している同様の事業への参加も打診されるなど、同相談室と地域との交流はますます深まりそうだ。

【ニュース専修2004年10月号5面】